

2022年8月16日

各位

会社名 太洋物産株式会社  
代表者名 代表取締役社長 松島 伸介  
(コード番号 9941 スタンダード市場)  
問い合わせ先 総務部 ジェネラルマネージャー  
井坂 勇登  
電話 (03)5946-8000

### 新株式発行に関する資金用途変更のお知らせ

当社は、2021年8月13日付「第三者割当による新株式の発行に関するお知らせ」（以下、「本新株式発行開示」という。）で公表したとおり、2021年9月3日に新株式を発行して資金調達（以下、「本資金調達」という。）を実施いたしました。

2022年8月16日開催の当社取締役会において、本新株式発行開示に記載した本資金調達の資金用途について、下記のとおり、変更することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

##### 1. 変更の理由

当社は、生活者の生活の質の向上に貢献する価値の創造を目指し、企業活動・事業活動に従事しております。そのために、企業活動の活性化と経営基盤を強化し、多様な付加価値を創造することで、特定地域や分野で能力を発揮できる専門商社となることを目指し努力を重ねておりますが、①利益率の向上と安定的利益の確保、②リスクの分散・回避、③機動的な資金の投入、④純資産の部の改善といった4つの基本方針の下、全社一丸となって取り組んでおります。

当社再建にご理解ご支援を頂いている取引金融機関から資本対策を強く要請されており、2019年7月に策定した新たな中期計画書（第80期から第82期まで）に盛り込んでいた資本増強について、本第三者割当増資を実施することで当事業の継続性についての信託を取引金融機関から得ることを本資金調達の目的とし、調達した資金については、割当先である株式会社エビス商事の主力商品である国産鶏肉やブランド鶏である霧島鶏の国内販売先の新規開拓、株式会社エビス商事の子会社で行っているペットフードの製造・販売で使用する原料（主には国産鶏肉、牛肉、豚肉）を当社から仕入れることによるコスト削減の実現、ミャンマーの養鶏場で使用している欧州産の鶏の飼料を日本に輸入し販売していくための事業開発費用として107百万円、もう1つの割当先である株式会社ランニングとは、同社の代表取締役である辛澤氏が保有する日本国内や海外との取引や出資等で培ってきた既存の取引先や人材との繋がりを活用して、当社商材の新規開拓に協力いただける可能性があることから、現在、具体的な連携方法について協議中ではありますが、当社の商材を株式会社ランニングが保有する日本国内や海外の取引先や人材を通して、新たな商品の試供品の提供を行っていく形で営業提案を継続し新規取引先の開拓につなげていくことを考えており、そのための人件費及び試供品費用として20百万円の充当を見込んでおりました。

しかしながら、株式会社ランニングは、本資金調達で取得した当社株式を2021年9月24日から10月14日までの期間において、株式会社ランニングが当社株式76,200株（平均売却単価：1,419.07円）を市場で売却し、株式会社ランニングが当社株式を売却した理由につきましては、当社普通株式の高騰を受けて換金目的に

よって売却しておりますが、株式会社ランニングが株主となっている企業の新たな戦略上、急遽資金の捻出が必要となり、やむなく売却をするに至ったとの報告をランニング社より受けております。本件については2021年10月22日付で「第三者割当により割り当てられた株式の譲渡に関する報告書」を株式会社東京証券取引所に提出しております。

なお、2022年1月22日の当社株主名簿を改めて確認したところ、その後、株式会社ランニングが、保有株数はゼロとなっており、割り当てた株式の全てを売却していることが確認されました。本件について、株式会社ランニングの代表取締役である辛澤氏に連絡を致しましたが、返答はありませんでした。

中長期保有とした当社株式を株式会社ランニングが早期に売却した事実によって、当社の株式会社ランニングに対する信頼が毀損していることから、当社としましては、当初見込んでいた同社の代表取締役である辛澤氏が保有する日本国内や海外との取引や出資等で培ってきた既存の取引先や人材との繋がりを活用して、当社商材の新規開拓に協力いただける可能性は完全に消滅したと判断いたしました。

そのため、本新株式発行開示の当初の資金使途を一部変更し、株式会社エビス商事との事業開発費用に充当することに致しました。

なお、本日「第三者割当による新株式及び第1回新株予約権の発行（行使価額修正選択権付き）に関するお知らせ」にて開示いたしましたとおり、当社は今般第三者割当増資を行うことと致しましたが、割当予定先の選定にあたり、株式会社ランニングが当初約した保有方針に反し、割り当てた株式を売却してしまったことを踏まえ、以下の点に留意し、選定を行っております。

- (1) 資金繰りに憂慮していない財務状況であることが確認できること
- (2) 当社との緊密な連絡体制を構築いただける相手先であること
- (3) 実績のあるフィナンシャルアドバイザー企業との紹介のもと、割当予定先の選定を行うこと
- (4) 法定開示事項及び東京証券取引所規則を十分に理解いただけること。

## 2. 変更の内容

変更箇所を下線を付して表示しております。

### ①変更前の本資金調達資金使途（当初予定）

| 具体的な使途                     | 金額      | 支出予定時期                 |
|----------------------------|---------|------------------------|
| 業務提携に向けた事業資金               |         |                        |
| 商流プロセスの検討、構築、試作販売に係る事業開発費用 | 127 百万円 | 2021 年 10 月～2022 年 9 月 |

当社と各割当予定先は、後記「6. 割当先の選定理由等 (2) 割当先を選定した理由」に記載のとおり、業務提携に向けた協議をしており、各割当予定先との業務提携を実現にするにあたり、新たに商流プロセス（倉庫・海運の物流、販売先の選定、運送手配、決済プロセスの確立、保険（海上、輸出、火災等）、試作販売）を決定するために係る人件費、外注費、試作販売のための仕入費用、諸経費に本新株式で調達した資金 127 百万円を充当する予定です。当社と各割当予定先との業務提携に向けた内容としては、主に株式会社エビス商事の主力商品である国産鶏肉やブランド鶏である霧島鶏の国内販売先の新規開拓、株式会社エビス商事の子会社で行っているペットフードの製造・販売で使用する原料（主には国産鶏肉、牛肉、豚肉）を当社から仕入れることによるコスト削減の実現、ミャンマーの養鶏場で使用している欧州産の鶏の飼料を日本に輸入し販売していくことを主に検討しておりますが、株式会社エビス商事との事業提携に向けた事業開発費用として商流プロセス（欧州メーカーからのライセンス取得、倉庫・海運の物流の確保、販売先の選定、原料の仕入先の選定、運送手配、決済プロセスの確立、試作販売）の確立に向けた費用として 107 百万円の充当を見込んでおります。また、株式会社ランニングとは、同社の代表取締役である辛澤氏が保有する日本国内や海外との取引や出資等で培ってきた既存の取引先や人材との繋がりを活用して、当

社商材の新規開拓に協力いただける可能性があることから、現在、具体的な連携方法について協議中ではありますが、当社の商材を株式会社ランニングが保有する日本国内や海外の取引先や人材を通して、新たな商品の試供品の提供を行っていく形で営業提案を継続し新規取引先の開拓につなげていくことを考えており、そのための人件費及び試供品費用として20百万円の充当を見込んでおります。

②変更後の本資金調達の具体的な用途

| 具体的な用途                     | 金額     | 支出予定時期           |
|----------------------------|--------|------------------|
| 業務提携に向けた事業資金               |        |                  |
| 商流プロセスの検討、構築、試作販売に係る事業開発費用 | 127百万円 | 2021年10月～2022年9月 |

当社と各割当予定先は、後記「6. 割当先の選定理由等 (2) 割当先を選定した理由」に記載のとおり、業務提携に向けた協議をしており、各割当予定先との業務提携を実現にするにあたり、新たに商流プロセス（倉庫・海運の物流、販売先の選定、運送手配、決済プロセスの確立、保険（海上、輸出、火災等）、試作販売）を決定するために係る人件費、外注費、試作販売のための仕入費用、諸経費に本新株式で調達した資金127百万円を充当する予定です。当社と各割当予定先との業務提携に向けた内容としては、主に株式会社エビス商事の主力商品である国産鶏肉やブランド鶏である霧島鶏の国内販売先の新規開拓、株式会社エビス商事の子会社で行っているペットフードの製造・販売で使用する原料（主には国産鶏肉、牛肉、豚肉）を当社から仕入れることによるコスト削減の実現、ミャンマーの養鶏場で使用している欧州産の鶏の飼料を日本に輸入し販売していくことを主に検討しておりますが、株式会社エビス商事との事業提携に向けた事業開発費用として商流プロセス（欧州メーカーからのライセンス取得、倉庫・海運の物流の確保、販売先の選定、原料の仕入先の選定、運送手配、決済プロセスの確立、試作販売）の確立に向けた費用として127百万円の充当を見込んでおります。＜以下削除＞

3. 今後の見通し

本資金調達による資金用途の変更による当社業績への影響が判明した時点で、速やかにお知らせいたします。

以上